

施策体系（案）

柱	取組方針	施策	事業（例示）
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車が安全に走行できるよう、「矢羽根」など視認性が確保できる整備手法により交差点の走行位置の明示や狭隘道路における整備を進めることで自転車走行空間の連続性を確保するとともに、さらなる延伸に取り組む ・路肩の段差解消ブロック等においては、接触により自転車の転倒など、事故につながる危険があり、設置者に責任が問われる場合があることから、撤去指導に取り組むことで、安全な自転車走行空間を確保する ・市民の安全意識を高め、行動につながるよう、スタントマンやドライブレコーダーを活用した交通安全教室に加え、地域や警察、学校と連携した街頭指導を継続的に実施し、自転車のルール・マナーの周知啓発に取り組む ・ヘルメット着用の重要性を周知啓発し、民間と連携した普及促進に取り組む 	自転車走行空間の確保	【拡】 自転車走行空間の整備（自転車専用通行帯や「矢羽根」などの設置） 【新】 路肩における段差解消ブロックなど、走行支障物件の撤去指導
		安全啓発活動の実施	【継】 スタントマンやドライブレコーダーを活用した交通安全教室の実施 【継】 自転車安全利用のための街頭指導
		安全を守る環境づくりの推進	【拡】 民間と連携したヘルメットの普及促進（購入割引など）
快適	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクルにおいては、高齢者でも利用しやすい電動アシスト自転車の認知度を高め、利用促進につながるよう、回遊性における自転車の利点など、広報紙やイベント等において積極的なPRに取り組む ・中心市街地においては、特に放置自転車が交通安全の確保や商業活動、景観形成を阻害することを踏まえ、市営駐輪場の利用を呼びかけるチラシ配布し周知啓発するとともに、放置自転車の即時撤去などに取り組むなど、さらなる放置自転車の減少を図るほか、商店街等と連携し、利便性の高い小規模駐輪場の確保を目指す ・「自転車の駅」については、これまで重点的に取組んできたコンビニエンスストアへの設置のほか飲食店や物販店等との連携を強化するとともに、自転車交通量などを踏まえた、効果的かつ効率的な設置場所の選定や利用者ニーズを踏まえた機能の充実に取り組む 	回遊性の向上	【継】 電動アシスト自転車など、レンタサイクル利用促進のPR
		中心市街地の駐輪環境の向上	【継】 駐輪場の案内誘導と放置自転車の防止（チラシ配布や案内サインの充実） 【継】 中心市街地の小規模駐輪場の整備（商店街と連携した駐輪ラックの設置補助）
		休憩施設の提供	【継】 自転車の駅（休憩スポット）の設置（飲食店や物販店等への設置） 【新】 サイクルカフェの運営支援【民間事業】
		サイクリストへの支援	【新】 サイクルキャリアシステムの導入支援【民間事業】
楽しく	<ul style="list-style-type: none"> ・宮サイクルステーションにおいては、指定管理者と連携しながら、情報発信の充実や施設の利用促進に向け、セミナーやスポーツバイクの一時預かりなど、サービスの充実に取り組む ・本市を縦貫している田川、山田川、鬼怒川、姿川の4本の河川において、サイクリングロードの整備を進めることで、広域的に連続した安全な自転車走行空間が確保され、中心市街地や郊外の観光施設、ジャパンカップのコースや総合スポーツゾーン等とのアクセスが高まるとともに、自転車ネットワークの強化にもつながるほか、自転車を活用した多様なイベント等にも活用できることから、関係機関と連携しながら計画的な整備に取り組む ・「自転車のまち」としてのシンボル化を推進し、サイクルロードレースファンへの魅力向上を図るため、ジャパンカップのコース上に、案内・サイン表示の拡充、ブルーラインの整備を実施するなど、恒常的な誘客の促進に取り組む 	スポーツ・観光等との連携	【拡】 サイクルステーションの運営（情報発信、サービスの充実） 【継】 サイクリングロードの整備 【新】 北関東400kmブルベの開催支援【民間事業】 【新】 サイクルピクニック開催の支援【民間事業】
		プロスポーツとの連携	【継】 ジャパンカップの開催支援（ロードレース、クリテリウム、シクロクロス） 【新】 ジャパンカップコースのルートを案内するサインの整備
健康とエコ	<ul style="list-style-type: none"> ・モビリティマネジメントとの連携を図り、通勤等にスポーツバイクを利用してもらうなど、自動車から自転車への利用転換を図る ・今後の高齢化社会を見据え、市民の健康増進や環境にやさしいライフスタイルを推進するため、高齢者の健康寿命の延伸に向けた健康自転車教室の実施など、自転車利用の促進に取り組む ・公務での移動手段にスポーツバイクを利用し、「自転車のまち」をPRするとともに、自転車の積極的な活用による環境負荷の低減を図る 	自転車通勤の推進	【拡】 スポーツバイクを活用した自転車通勤モニターの実施
		新たなライフスタイルの推進	【継】 高齢者を対象に健康増進を目的とした宇都宮ブリッツェンによる講習会
		環境負荷の低減	【新】 公用自転車にスポーツバイクを導入（公務での自転車の行動範囲を拡大）
つながる	<ul style="list-style-type: none"> ・NCCの形成やLRTの導入を見据え、市内の各地域拠点毎に、基幹公共交通および幹線・支線となるバス停付近への駐輪場整備に取り組み、サイクル&ライドを推進することで、自転車や公共交通の利用促進を図る。また、鉄道駅付近の駐輪場においては、定期利用の待機者の実態を踏まえ、施設の拡充を検討する ・県央の拠点都市として、市外の観光地等とつながるサイクリングルートを周辺自治体と連携しながら構築し、自転車マップの作成等を行うことで、自転車を活用した広域的な周遊の促進を図る ・「自転車のまち」としてのブランド力を高め、市民の自転車利用の機会を創出するため「自転車の日」を設定し、協力団体などと連携しながら自動車利用のPRを推進する 	公共交通との連携強化	【拡】 基幹、幹線、支線の交通結節点（鉄道、LRT、バス）への駐輪場整備
		広域的な周遊の促進	【拡】 周辺自治体と連携した広域版自転車マップの作成（広域的なサイクリングの周遊促進）
		自転車に対する市民意識の向上	【新】 「自転車の日」を設定し、協力団体などと連携しながら「自転車のまち宇都宮」を広くPRする